LINE対話

はじめてのLINEBOT作成

前提

- LINEアカウントがある
- 48v.me にアカウントがある
 - FTPでプログラムを置ける

GitHub

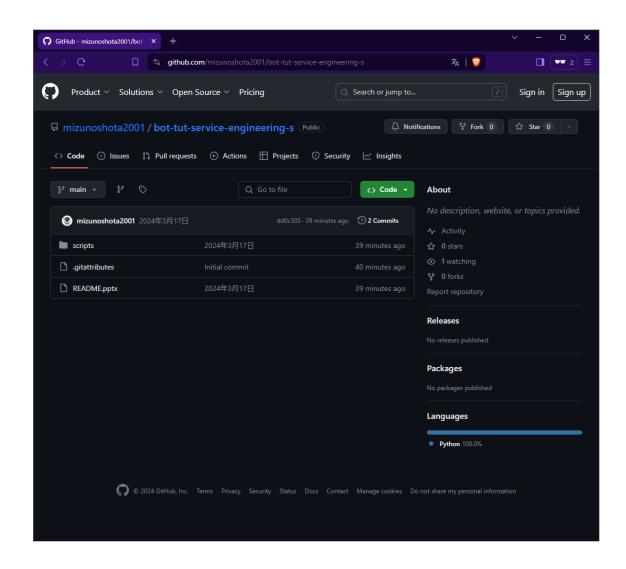
使用するプログラムをダウンロードするまで

GitHub ソースコードをダウ ンロードしよう

<u>https://github.com/mizunoshota2001/bot-tut-service-engineering-s</u>
このURLにアクセスしてください。

ベースとなるプログラムとその説明を公 開しています。ZIPでダウンロード



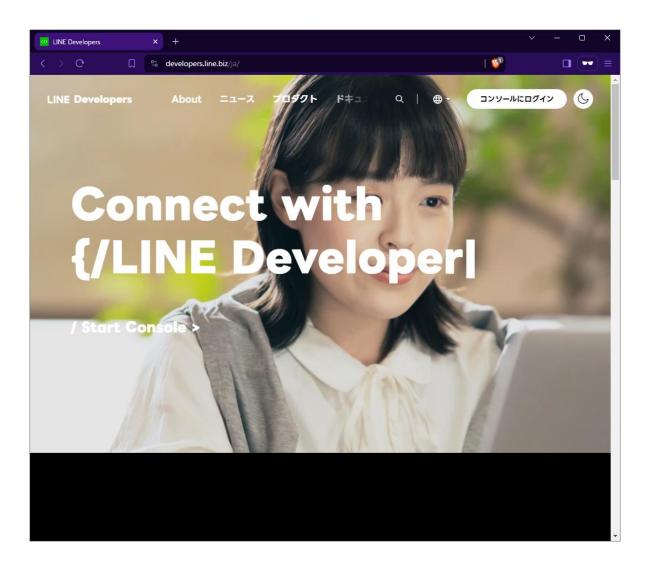


LINE Developers

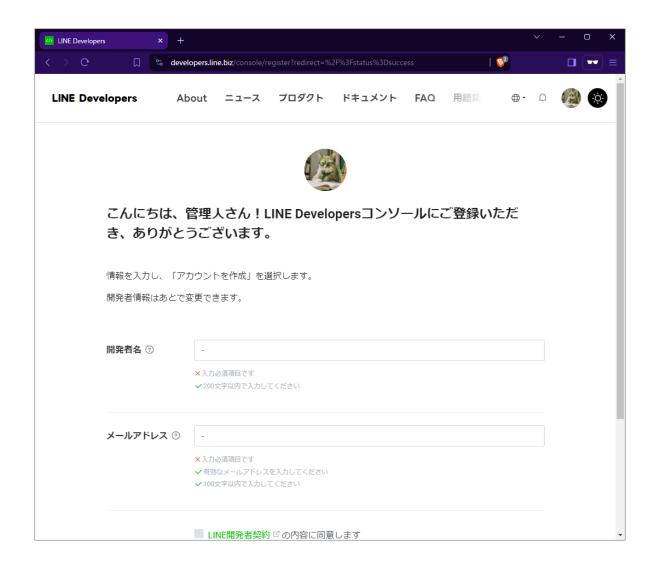
公式LINE-BOT用のチャネルを作成するまで

LINE Developers ログインしよう

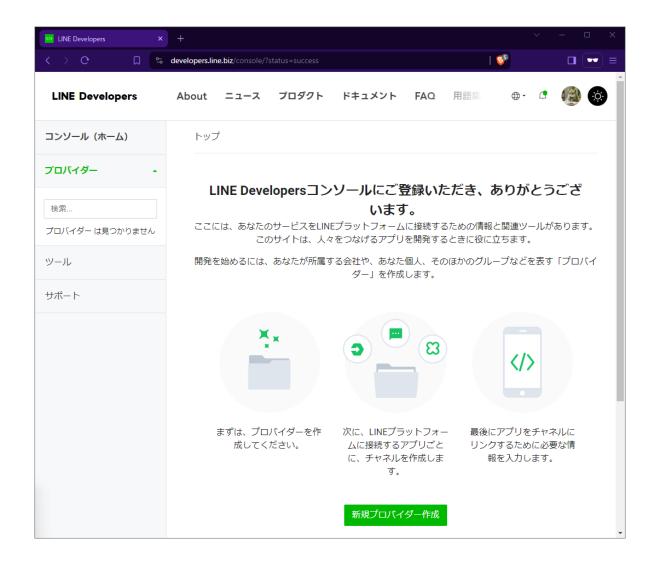
https://developers.line.biz/ja/



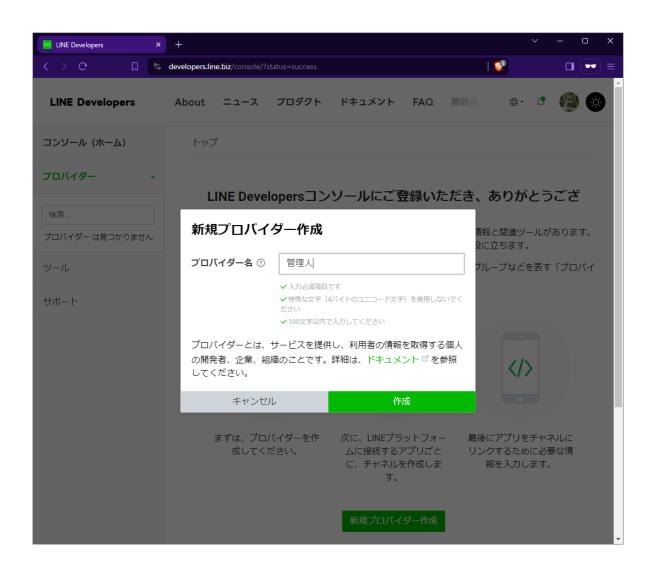
LINE Developers アカウントを作成



LINE Developers 新規プロバイダー作 成



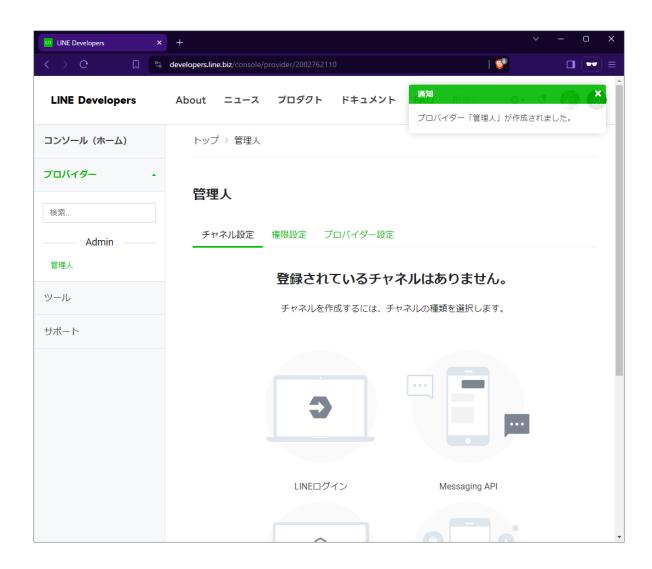
LINE Developers 新規プロバイダー作 成



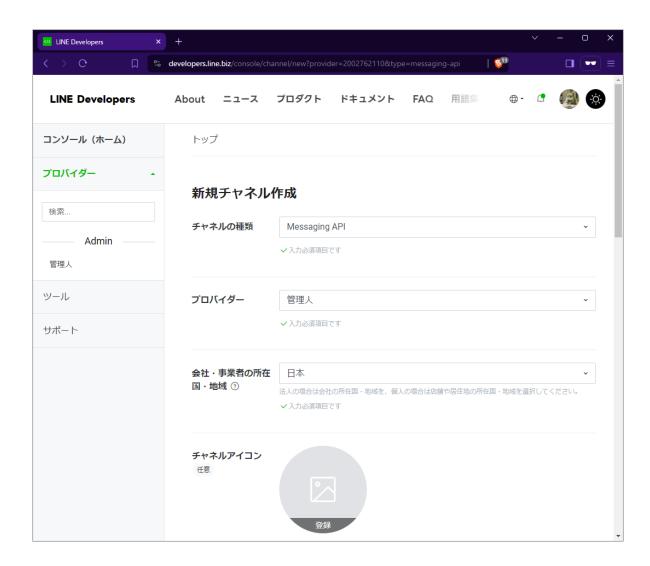
LINE Developers 新規チャネル作成

チャネルを作成するには、チャネルの種 類を選択します。

今回は<mark>Messaging API</mark>

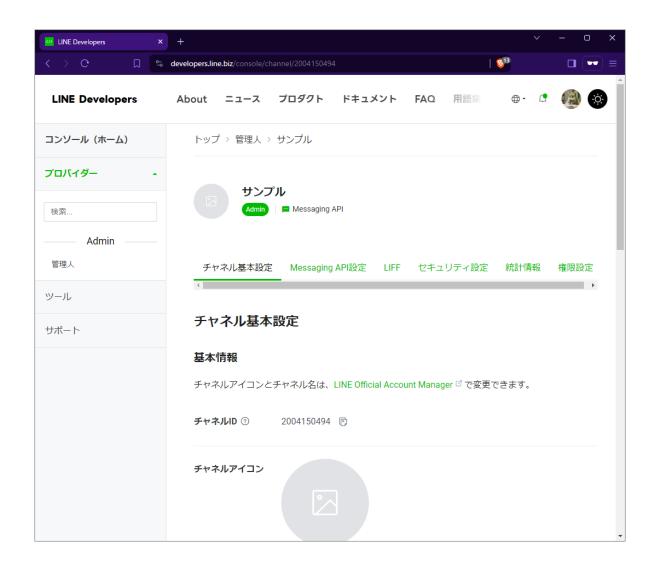


LINE Developers 新規チャネル作成 ^{必要な項目を入力}



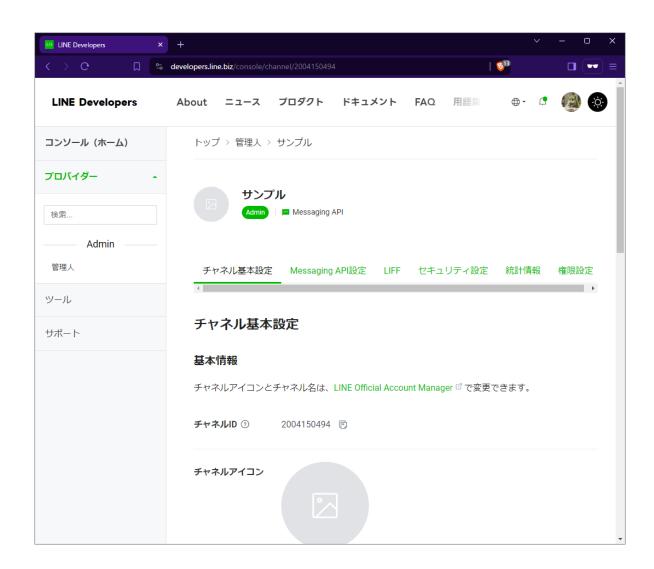
LINE Developers 新規チャネル作成

作成完了後にはチャンネルの設定ページ に遷移します。



LINE Developers チャネルを確認しよ う

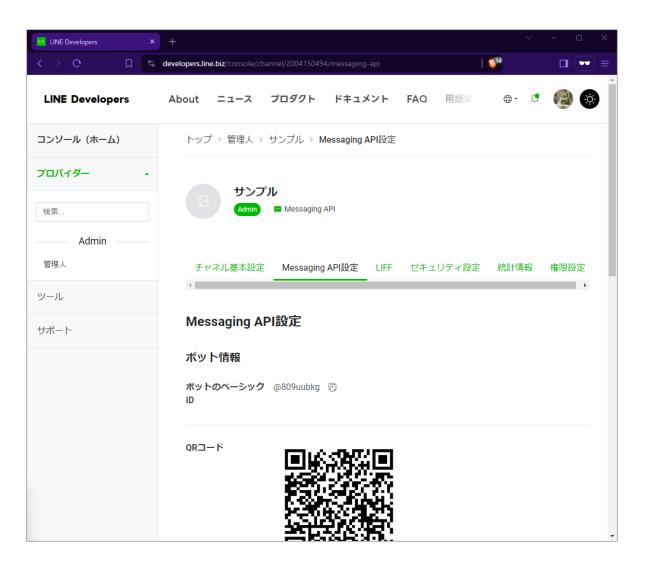
チャネルの詳細画面から、<mark>Messaging</mark> <mark>API設定</mark>をクリック



LINE Developers チャネルを確認しよ う

QRコードから作成したチャネルを友達登 録

初期設定では、LINEが用意している<mark>あい</mark> さつメッセージ<mark>が表示される</mark>

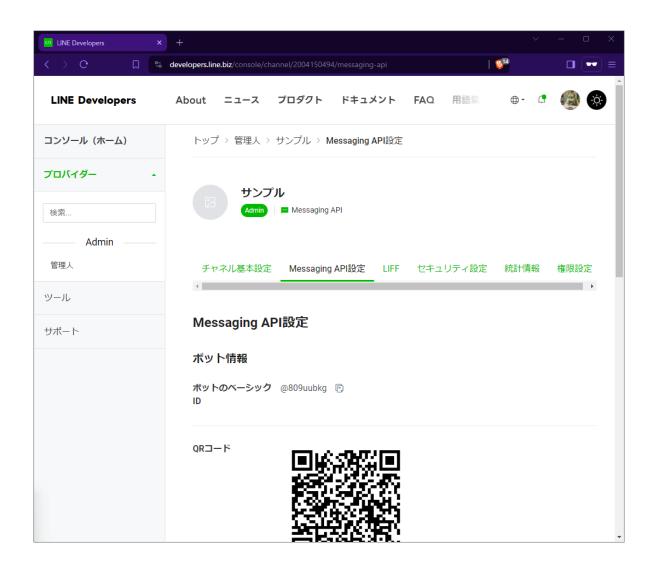


トークン発行

チャネルアクセストークンを発行するまで

トークン発行

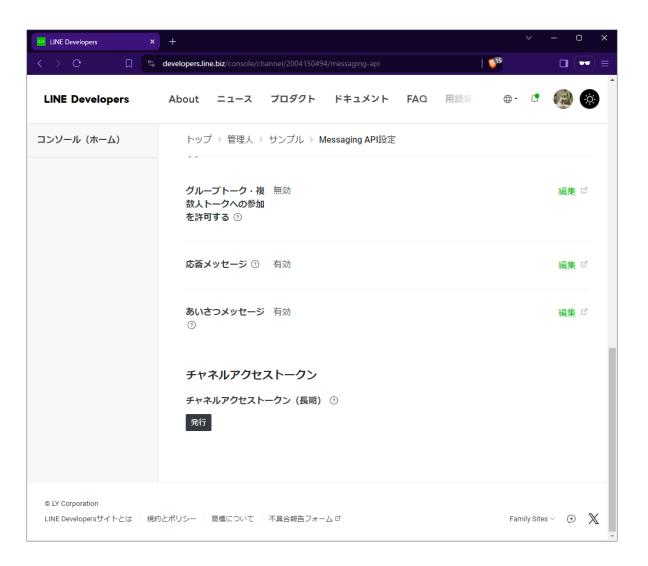
チャネルの詳細画面から、<mark>Messaging</mark> <mark>API設定</mark>をクリック



トークン発行

ページ最下部からアクセストークンを発行できる。

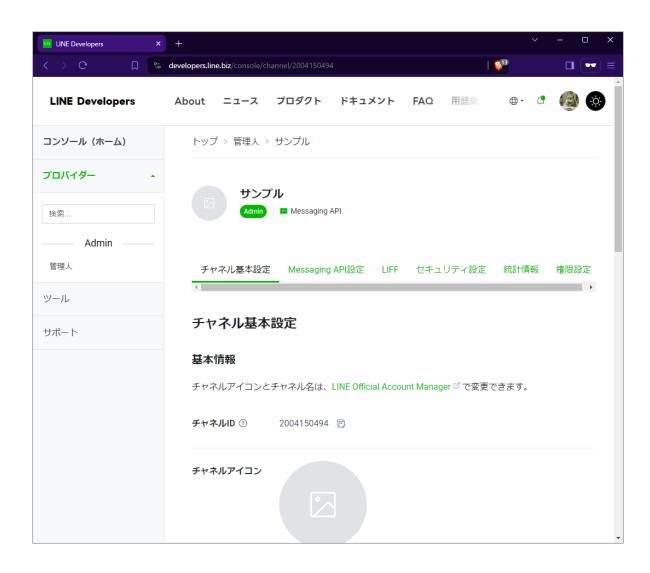
<mark>発行</mark>をクリック



チャンネルシークレットの取得

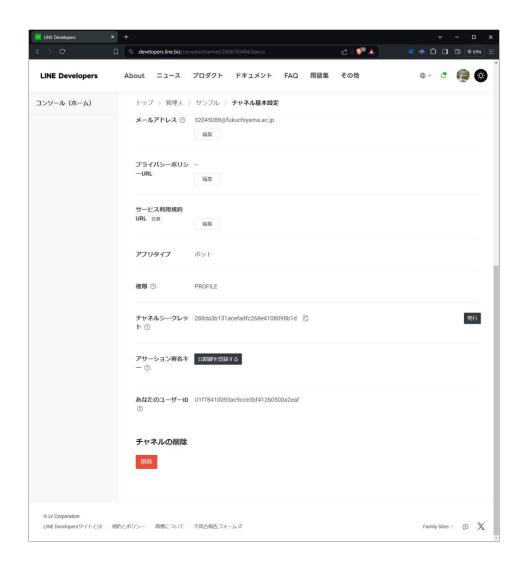
チャネルアクセストークンを発行するまで

チャンネルシーク レットの取得 ページ下部へスクロール



チャンネルシーク レットの取得

<mark>チャンネルシークレット</mark>をメモしておいてください。

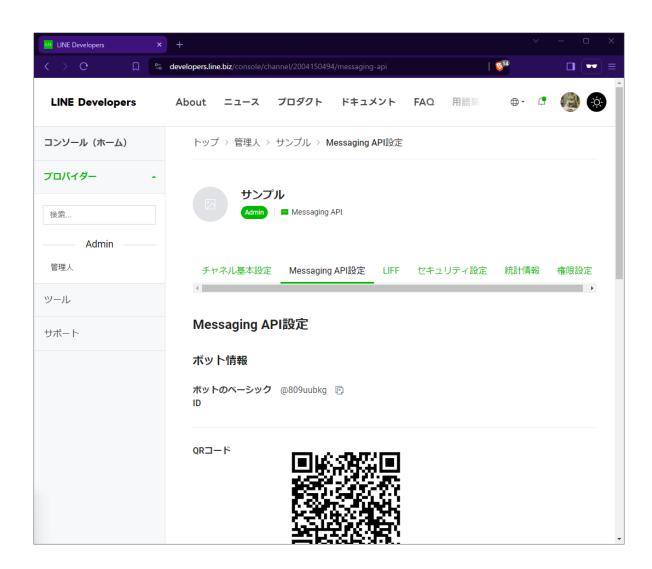


Messaging API設定

Webhook用のURLを設定するまで

Messaging API設定 Webhookを有効にする

チャネルの詳細画面から、<mark>Messaging</mark> <mark>API設定</mark>をクリック



Messaging API設定 Webhookを有効にする

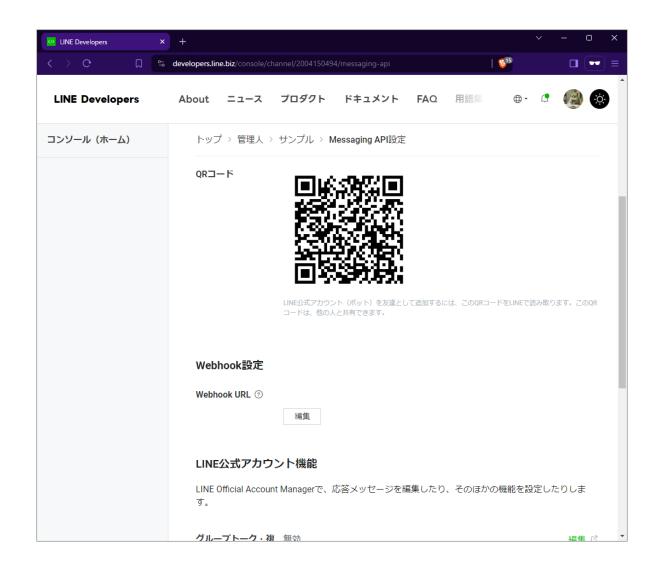
QRコードの下にWebhook設定がある。

<mark>編集</mark>をクリックし、URLを設定する。

URLは48v.me上に設置した、「webhook.py」を設定してください。

webhook.py

https://github.com/mizunoshota2001/bot-tut-service-engineering-s/blob/main/webhook.py



おうむ返しさせてみよう

サンプルコードを見てみよう

おうむ返しさせてみ よう

- どこにユーザが送信したメッセージが 格納されていますか。
 - event.message.text
- ユーザにメッセージを送信するにはどのようにしますか。
 - reply_message_with_http_info
 - ReplyMessageRequest

```
29行目~
@handler.add(MessageEvent, message=TextMessageContent)
def handle_message(event):
    api_instance.reply_message_with_http_info(
        ReplyMessageRequest(
            reply token=event.reply token,
            messages=[TextMessage(text=event.message.text)]
```

おうむ返しさせてみ よう

- ReplyMessageRequest
- replyTokenはeventに格納されているものを使用します。
 - event.reply_tokenは一度使用する と失効されます。
 - 複数のメッセージを送りたい場合には、messagesに複数のメッセージを格納してください。

```
class ReplyMessageRequest(
    replyToken: StrictStr,
    messages: Any,
    notificationDisabled: StrictBool
```